

小林^隆 殊勲の二本勝ち

強豪県警機動隊チームに競り勝つ

第59回兵庫県剣道優勝大会(一般の部)

剣道

No. 161

12月号

三木市剣道連盟
広報部
2012(平成24)年
12月22日(土)
発行

- 第59回兵庫県剣道優勝大会(1, 2面)
- 第33回三木市民剣道大会(3, 4面)
- 第31回青少年健全育成剣道大会(5面)
- 東播・県高校新人戦(6・7面)
- 第101回級位認定審査会・月々の便り(7・8面)

◎本紙は三木市剣連HP
(<http://mikikenren2011.web.fc2.com/>)でもご覧いただけます。PDFでカラー印刷できます。

本年度最後の大きな試合、第59回兵庫県剣道優勝大会(一般の部兼第66回兵庫県民体育大会剣道競技)は、11月23日(金)祝、神戸市立王子スポーツセンターで行われ、県下各地から94チームが出場した。

我が三木市剣道連盟からは例年通り2チームが出場したが、メンバー集めに苦労する始末だった。去年、一昨年とベスト16にまで駒を進め、「三木はやる！」という評判をとっているだけに、そうはいっても出場しないわけにはいかない。学生剣士が出場できない点も、選手層の薄さ、我が三木剣連は苦しい。

今年には兵庫県剣道連盟創立60周年にあたり、開会式、試合に先立って、退任祝い・表彰式が行われた。三木剣道連連では、自由が丘少年剣道教室が、「全剣連少年剣道教育奨励賞」を受賞、また、兵庫県剣道連盟功労賞に小紫邦夫名誉会長が、さらに兵庫県剣道連盟

60周年記念表彰を小紫邦夫氏と神澤正輝副会長が受賞した。

開会式の後、恒例の「日本剣道形」(大太刀7本、小太刀3本)を三木在住の伊藤明裕先生(教士7段)が、小笹隆一先生を相手に打太刀をとめられた。流れるような、そして力強い形に、参加者全員が拍手を惜しまなかった。



受賞した大西、小紫、神澤氏(左から)



健闘した三木B中谷選手(右)

試合は6つの試合場で一斉に始められた。我が三木剣連のAチームは第4試合場で、Bチームは第2試合場で戦った。



見事な形を披露する伊藤明裕氏(左)

Bチームは、緒戦、強敵カンキと対戦、先鋒2本負け、次鋒コーコの引き分け、中堅2本負けではや王手をかけられ、副将・大将の木村兄弟が必至の挽回を試みるも及ばず、2-0で敗退した。

Aチーム

今年もベスト16

Aチームは、去年のベスト16の成績が効いたのか、1回戦シード、2回戦からの出場だった。2回戦の相手は、筒剣会を降し緒戦を勝ち上がってきた「尼崎剣連B」チームだ。

先鋒西本英一郎は相手土居新太郎が突きに来るところをかわして強烈な面を先取、手元が浮いたところをコテを奪われたがすぐさま同じコテを奪い返して先勝、続く次鋒高尾英生も相手をライン際に再三追い詰め理にかなった見事なメン。中堅小林引き分けの後、副将松本コテを奪われた直後に意表をつく逆胴で挽回、タイに。大将上田不戦勝で、3-0の完勝だった。

3回戦は、強豪「梶機動隊剣友会」が相手。機動隊チームは、若手中心の「香守剣友会」を一蹴しての3回戦進出で、全員自信がみなぎっていた。この試合、実力伯仲して互いに譲らず、先鋒・次鋒引き分けの



ベスト16 進出の立役者
小林選手 (右)



大将として粘った上田選手(左)

あと、中堅小林隆仁は、上背に勝る相手の中堅井上和則選手に機敏な動きで技を出させず、鮮やかなメンを決め、勢いに乗ってさらにメンをとって2本勝ちとした。副将松

本、大将上田が相手に1本取られながら取り返してタイにしたことから、小林の1勝が貴重な勝者数

1となり勝ちを決めたのだ。これで我が三木剣連は3年連続のベスト16入りを果たし、元気なところを示した。

ベスト8を賭けた第4回戦の相手は、若手中心の「加古川刑務所」チーム。大将の山里清司5段の32歳を最年長に、平均年齢27歳、我が三木剣連Aチームのそれは10歳上の37歳だった。果たしてその若さに圧倒され、動きの速さに負けた。次鋒・大将はかろうじて引き分けたものの3人が敗れ、3-0で完敗した。結果

的には去年に同じのベスト16だったが、チームの若返りという課題が残ったのであった。

	先	次	中	副	大	勝	本
カンキ	吉川	北川	石坂	大澤	松本	2	5
	メ	コ	コメ				
三木B		コ				0	1
	江村	栗田	中谷	木村	木村		

	先	次	中	副	大	勝	本
尼崎剣連B	土居	西	吉田	江端	池田	0	1
				コ			
三木A	メコ	メ		ド	不	3	6
	西本	高尾	小林	松本	上田		

	先	次	中	副	大	勝	本
梶機動隊	田尾	畑	井上	大塚	坂本	0	2
				コ	コ		
三木A			メメ	メ	メ	1	4
	西本	高尾	小林	松本	上田		

	先	次	中	副	大	勝	本
加古川刑務所	永田	椿原	百々	大西	山里	3	5
	メ		ツメ	メコ			
三木A						0	0
	西本	高尾	小林	松本	上田		

吉川勢、上位独占！

第33回三木市民剣道大会

本年度最後の市民大会、「第33回三木市民剣道大会兼第26回三木市少年スポーツ大会剣道の部」は、11月18日(日)、吉川総合公園文化体育館で開催され、市内各剣道教室、各学校剣道部員ら約120名がエントリーした。

当日は、午前9時から出場選手、審判団、剣道連盟一般会員らによる合同稽古が行われ、ひと汗流した後、開会式が始まった。開会式に



熱戦の様子 (小学4年以下男子の部)

は北井信一郎副市長、三木スポーツ振興基金椿原豊勝常務理事らが来賓として参列され、それぞれ挨拶された。選手宣誓は優勝杯返還後、自由が丘少年剣道教室の林大君が力強く行った。

試合は10時半から4つの試合場で全試合予選リーグ、決勝トーナメントで進行了。午前中に小学生4年生以下の部、男女、5・6年生の部男女、そして中学生男女が行われ、昼食をはさんで、日本剣道形の教室対抗戦、高校生男女、一般の女子の部、青年の部、壮年の部、2部が行われた。

別所チームの形を

激賞 安栖審判長

小学生、中学生の部では、吉川勢が他の教室、部を寄せ付けず、各部門優勝をほぼ独占した。中学生男女入賞者7名中6名を占めるなど、吉川剣道少年団が相変わらず

の強さを発揮した。他の教室、剣道部に今一つの工夫がほしいところだ。昼休み後の各教室代表1チーム



日本剣道形の試合をする小学生

ムによる日本剣道形対抗戦では、別所少年剣道教室チーム生田龍平・生友佑磨組が、抜群の完成度で優勝をさらい、安栖審判長は講評で特に取り上げ激賞した。

大会盛り上げた

一般の部

午後の高校生の部は、参加者も男子23名、女子8名と多く、市内4高校に、小野、社の生徒も加えて大会を盛り上げた。

女子は三木市で唯一県大会個人戦に出場した三木東高校の杉正香(菜)1年が実力を発揮して優勝し、稽古熱心でコツコツ努力した三木

北高校の田正司祐奈が2位にくだ。4月に剣道を始めたばかりの吉川高校の2人の女子も初出場し、来年度のきょうかけをつかんだ。男子は三木3校の剣道部員がそう出場、小野高の2名がそれに加わった。優勝を果たしたのは小野高校1年生の山口優輝で、三木北高の2年生、衣笠和輝主将を決勝で破った。

中学生、高校生の試合について、あえて苦言を呈するとすれば、いわゆる当てる剣道が目立ち、腹の底から声を出し、思い切つて「打ち切る」技が少ないため決めに欠けた試合が多かった。それゆえいたずらに試合が長引いた。今後の課題とした。

いまいちの高校生たちの試合を挽回したのは一般の部。23日の県剣道優勝大会一般の部に出場予定の若手が出場し、白熱した試合を展開した。三木東高校剣道部顧問八木啓介選手を中心に、若手が互いに得意技を繰り出し、内容のある試合が多かった。

一般壮年の部も予選をリーグ戦にするなどして大会を盛り上げた。入賞者以下の通り。

	優 勝	準 優 勝	三 位	三 位
日本剣道形	別所 <small>いくとゆうへい いくとゆうま</small> (生田 龍平・生友 佑磨)	吉川 <small>もりもとかずなり ぬかさかれん</small> (森本 一成・岡坂 蓮)	緑が丘 <small>むらぬかひろき もりぬかしょうへい</small> (村岡 弘規・森岡 正平)	
小学4年以下女子	やまだ まみ 山田 真実 (吉川)	ますだ もえか 増田 萌花 (緑が丘)	ひだか みお 日高 光桜 (中央)	はば みもり 幅 美萌梨 (緑が丘)
小学4年以下男子	はしま ゆひと 橋間 祐仁 (吉川)	なかもと しいな 中本 紫那 (別所)	もりもと ひろしげ 森本 裕重 (吉川)	いまふく けんた 今福 謙太 (自由が丘)
小学5・6年女子	かむらにな 加村 仁奈 (中央)			
小学5・6年男子	おかさか れん 岡坂 蓮 (吉川)	もりもと かずなり 森本 一成 (吉川)	ひだか りゆうせい 日高 龍世 (中央)	いくとも ゆうま 生友 佑磨 (別所)
中学生女子	おかさか わかな 岡坂 和奏 (吉川)	うちむら ともみ 内村 友美 (自由中)	さんとう ようこ 三藤 暢子 (吉川)	
中学生男子	はしま たすく 橋間 祐久 (吉川)	あさい ゆうすけ 浅井 優輔 (吉川)	はしま ゆうせい 橋間 祐生 (吉川)	いしはら そういちろう 石原 颯一郎 (吉川)
高校生女子	すぎまさ かな 杉正 香菜 (三木東)	たしよし ゆうな 田正司 祐奈 (三木北)	にしお ふうか 西尾 風花 (三木東)	こぶち えりか 小淵 恵理香 (吉川)
高校生男子	やまぐち ゆうき 山口 優輝 (小野)	きぬがさ かずき 衣笠 和輝 (三木北)	すずき たくと 鈴木 拓斗 (三木)	いしだ たかし 石田 諭史 (三木)
一般女子	おおにし ゆき 大西 由記			
一般青年	やぎ けいすけ 八木 啓介	ふじた けいご 藤田 圭吾	あわた りょうのすけ 粟田 良之助	たかお ひでお 高尾 英生
一般壮年の部	うえだ よしひろ 植田 善博	うえだ よしのり 植田 吉則	きぬがさ てつし 衣笠 徹志	なかたに ただし 中谷 忠資
一般二部	いなおか としひろ 稲岡 稔博	かむら ともた 加村 友多		



喜びの各部入賞者 上段右から左へ小4年以下女子の部、同男子、小5・6女子、同男子 中段右から左へ中学生女子、同男子、高校生女子、同男子 下段右から左へ 日本剣道形優勝チーム、一般女子、同青年の部、壮年の部、壮年2部